

標記展示会に参加したので、ここに報告する。

1. 目的

情報セキュリティにおける最新技術の動向を探ることを目的とした

2. 概要

+ 日時：平成 19 年 10 月 25 日（木）

+ 場所：東京ビッグサイト [東展示ホール]

（東京都江東区有明 3-21-1）

+ 内容：

-- 講演：『セキュリティ・オープン・ラボ 2007

–シン・クライアント・ホットステージの歩き方』

日経 NETWORK 副編集長 加藤雅浩 氏

-- 特別展示：

・『仮想化技術を活用したシンクライアントソリューション』 NEC

・『シンクライアントを利用したユーザ課題解決策』 ネットワールド

・『USB キー1 本で世界どこからでも使えるシンクライアント環境を実現』 NTT アイティ

など

-- 展示：脅威対策、情報漏洩対策、アクセス制御、物理的セキュリティ など 161 社

3. 所感

今回の展示会のテーマは「シンクライアント」。今年の 4 月に本校でもシンクライアントシステムを導入したばかりであったため、非常にタイムリーなテーマであった。一口にシンクライアントシステムといっても運用形態によって、サーバベース型、ネットワークブート型、ブレード型、仮想 PC 型の 4 つの型に分類される。本校で導入したシステムは、ネットワークブート型で、演習室のような複数の PC を同時に稼働させるような環境に適したものである。今回の展示会においては、例えば、ノート PC の社外での利用や会社と自宅との通信におけるセキュリティの確保という観点からシンクライアントが紹介されており、そのような環境ではサーバベース型や仮想 PC 型が採用されているということであった。また、携帯電話上に個人の PC のデスクトップを表示させ、アプリケーション等を操作するデモが行われ、非常に興味深かったが、その有効な活用方法については残念ながら知ることはできなかった（担当者に話を聞いたが、教育目的の利用はあまり考えていないようであった）。

その他、シンクライアント以外にも様々なセキュリティ対策関連企業が出展しており、最近の対策技術に触れることができた。先日、某高専の教員個人の PC から学生の情報がインターネット上に流出したということが起きた。これは決して対岸の火事ではない。今回の経験を少しでも、学内の情報セキュリティ確保に活かせられるようにしていきたい。